



僕はそう 小さなツバメ
たどり着いた街で触れた
楽しそうな人の声 悲しみにくれる仲間の声

みんなそれぞれ違う暮らしの形
守りたくて気付かないうちに
傷付け合ってしまうのはなぜ
同じ空の下で



NHKの子供向けSDGs教育番組のテーマソング「ツバメ」です。今や飛ぶ鳥を落とす勢いの「YOASOBI」が歌っています。これから本格的に運動会シーズンを迎えますが、あちこちの学校で、このダンスバージョンが披露されることでしょうか。NHKにしてみれば、まさに「パプリカ」の夢よもう一度といったところかもしれません。

さて、今回の話題は、そのツバメを取り上げたいと思います。

もっと大勢の情報が集まればもっと多く見付かるに違いありません。私の狭い行動範囲でも2か所、ツバメの巣を見付けています。

まず1か所目は大増寺のすぐ東側にある住宅車庫にあります。とても目立つので、前を歩いていてもすぐに気付きました。が、巣が空っぽだったので、以前のものなのかと不安になりつつ周囲を見回したところ、ちょうど前の電線の高い位置に止まっていました。壊れてはいますが、もう1つ巣があるので、毎年来ているようです。



もう1か所はそのまま豊島園通りまで足を延ばしますが、マルエツ田柄店の職員出入り口にありますが。こちらはよほど運が良くなければ見付けにくい気がします。5月下旬に、本当にたまたま親鳥が目の前を横切ったので探し当てることができました。



ところで、このツバメが出てくる物語に、藤沢修平の「玄鳥」があります。私は名作だと思いますが、興味があったら是非一読をお薦めします。まあ、「玄鳥」自体がツバメのことですから当然なんですけど、そういう突っ込みは脇に置いて、この物語の主人公は「路」という名の女性です。ストーリーは詳しく申しませんが、この路の夫である末次仲次郎が、長屋門にできたツバメの巣を取り壊させるシーンが出てきます。その門をくぐって客が訪れたとき、とりわけ上役などが訪ねて来たときに粗相をすると大変だから、というのが理由です。いかにもありがちな正論風の屁理屈ですよ。結局、まだ巣立ちもしない子ツバメもろとも巣を壊させたので、末次仲次郎がどういう人物なのかを象徴するようなエピソードです。



どうしてこんなどうでも良い話をし始めたかと言うと、私の中では、このツバメ繋がり、まだすっきりしていない出来事があるのです。実は、光が丘公園芝生広場の四阿（あずまや）に巣を作っていたイワツバメのことです。今もそこには「ツバメの巣に注意」のプレートが何枚も残っています。

何がすっきりしていないのかと言うと、その昔、全校遠足で子供たちを芝生広場に引率して行った時のことです。その場所に全員集合させて、これからのスケジュールや諸注意をしていたときに、ものすごい剣幕でいきなり男性に怒鳴り込まれたことがありました。

「上にツバメの巣があるのが分からないのか。怯えて近付かなくなっているじゃないか。うるさい！」

そのときは、何となく子育て真っ最中の動物たちに申し訳ないことをしたという気持ちが先行し、「ごめんなさい、今度の集合場所はもう少し離れた場所にします。」

と言って、その場を収めました。

ところが、それから数日もしないうちに、その四阿に散歩がてら立ち寄ると、たくさんあったツバメの巣が一斉に撤去されているではありませんか。とにかく驚きました。どういうことなのか、さっぱり分かりませんが、その後もイワツバメたちが帰って来ないところを見ると、おそらく、ツバメの巣が邪魔だと思う人間もいて、それが公園事務所に訴えたのでしょう。

しかし、私がすっきりしないのは、そのことではありません。私を怒鳴りつけたあの男性のことです。どうして、こんなひどい所業、まさに末次仲次郎そのものの振る舞いに対して、何もせず見過ごすまみにしていたのでしょうか。私たちを震撼させた、あの咆哮のエネルギーは一体どこに消えたのでしょうか。そのことが今もまだもやもやしているのです。そして、今も虚しく残されている「ツバメの巣に注意」のプレートを、彼はどんな思いで見ているのでしょうか。気になって仕方がありません。



ちなみに、ツバメとイワツバメの見分け方は簡単です。ツバメはのどが赤色をしているのに対し、イワツバメののどは白色をしているからです。ついでに言えば、もう1つ、尾羽にも明確な違いがあります。ツバメの尾羽が長いのに対し、イワツバメは短くなります。

最後に、森昌子の「越冬ツバメ」は無類の名曲だと思います。その中で、「♪ヒュールリー ヒュールリーラー」の一節は、演歌の神髄、物悲しいメロディとうまく調和して心に沁みてきます。これは、前後の歌詞からツバメの啼き声として歌われていますが、残念ながらツバメはそんな声ではありません。恐らく冬の虎落笛の寂しさをも表現しようとしているのでしょう。実際の声はジクジクピーピー、うるさいほどです。我が家の軒先に巣作りでもされたら、真っ先に壊してしまいそうです。

